

提出年月日 6. 8. 20

受理年月日 6. 8. 20

陳情第8

平成29年3月に策定された石岡市公共施設等総合管理計画を  
スピード感をもって着実に推進することを求める陳情

貴職には、当市が魅力的で活力があり、そして市民に愛されて住みやすいまちづくりを推進していただき誠にありがとうございます。

さて、当市においては速やかに公共施設の統廃合を図り財政負担を軽減して魅力溢れる石岡市をつくること。市民へ笠間市、小美玉市、かすみがうら市など近隣市に負けないような質の高い市民サービスを提供すること。などを目的に本県44市町村の中で一番早い時期の平成29年3月に石岡市公共施設等総合管理計画が策定されました。

しかし、実行されたのは、恋瀬出張所の廃止だけです。

当市の財政見通しでは、財政調整基金が令和16年度以降、マイナスになってしまうという極めて厳しい財政状況であり、また、人口減少がさらに進み、自主財源となる市県民税、固定資産税などを納税してくれる就労者数が減少すれば当然ながら、当市の歳入は減少してしまいます。北海道夕張市は箱物行政を継続したためと主要産業である炭鉱産業が廃止になったことが原因で財政再建団体になりボールペン1本を購入するのに総務省の承認がなければ購入できない事態となってしまっています。

そのため、令和7年度予算編成からは、当市の各部署において補助金等の削減、各種事業予算の削減など聖域なきコスト削減を図る必要があると思われまます。

当市の職員が、当市で策定された石岡市公共施設等総合管理計画を先送りすることなく、内容を十分に理解し、危機管理意識とスピード感をもってこの計画を推進することを陳情いたします。

**【委員長報告要旨】**

委員からは、「個別施設計画も令和元年度に策定されており、着実に一步一步進んでいる。社会情勢を見据えながら進行され、見直しも令和7年から8年に行っていくという状況のため、しっかりとこの部分を見据えていきたい」という意見が出されました。

**【結果】**

不採択